

**1 学校教育目標**

③ なかよく ②げんきに ③がんばる ④宮城の子

**2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像**

○学校像	保護者、地域社会に信頼され、ともに歩む学校 ・質の高い教育を提供し、士気の高い校風を創る学校 ・児童の健やかな成長を通して信頼を得る学校 ・児童も教師も保護者とともに学び、ともに成長する学校
○児童・生徒像	なかよく、元気に、がんばる 宮城の子・・・教育目標 ・なかよく・・・豊かな心、望ましい人間関係、社会貢献力 ・元気に・・・健康な心とからだ、基礎的生活習慣の確立、たくましい意志と体力 ・がんばる・・・確かな学力、問題解決能力と態度、創造力、表現力 ・宮城の子・・・自らの存在や学力に自信をもつ、地域への感謝と誇り
○教師像	児童、保護者、地域社会の期待と信頼に応える教師 ・児童の学力向上や体力向上のため、惜しまず力を注ぐことのできる教師。 ・一人一人の児童の人権を大切にし、保護者、地域から信頼される教師。 ・課題解決のためにチームとして力を合わせ、全力を出してやり遂げる教師。

**3 学校の現状及び前年度の成果と課題**

**現状**  
児童は、上級生がお手本となり、下級生はそれを見習おうとする意識が高い。教員は、中堅層は育ってきているが若手主体の学校で、授業力向上が課題である。地域は、墨田、荒川両川に囲まれており、本校は地域唯一の小学校として親しまれており、本年度迎える創立 75 周年を地域とともに祝ってゆきたい。前年度の学校体制の中で、サービス事故が発生したので、今年度は新たな管理体制のもと、サービス事故防止についてコンプライアンスの徹底と風通しのよい円滑なコミュニケーションの2点を経営の重点とする。

**成果**  
○コロナ禍の下、国・算・理・社・英語(外国語)の主要教科は、年間計画、授業時数を達成することができた。  
○区調査達成率が、目標としていた83%には達しなかったが、休校明け間もない時期での実施でも、昨年より若干でも向上した。

**課題**  
○法令順守、基本行動の徹底、高い意識の維持について常に啓発して、サービス事故を起こさない。  
○授業中の会話が制限される中、新学習指導要領に則った授業を実施できるよう、日常の授業の見直しを図ってゆく。  
○児童が成就感、達成感もてる学校行事を感染リスクを考慮した形へ創造する。(宮城小「Reborn」プロジェクト)

**4 重点的な取組事項**

	内 容	実施期間(年度) H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	楽しい学校生活の実現	○	○	○	○	○
3	体力の向上	○	○	○	○	○
4	保護者・地域との連携による教育の充実	○	○	○	○	○

**5 令和3年度の重点目標**

重点的な取組事項-1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
授業力向上により、児童の学習意欲を高め基礎学力を向上させる。		国語 80% 算数 80%							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	教師の授業力の向上	①②④全学年、 全教科 ③全学年 国語・算数	・毎日 ・毎週 ・毎月	① タブレットの活用を ICT 活用年間計画通りの実施 ② 毎日の授業観察と指導・助言 ③ 教科専門指導員による計画的な授業の立案と事後指導による授業力の育成 ④ 相互授業観察、自主授業公開の実施	週の計画・授業観察  児童アンケート	・実施率 100%  ・授業で対話、振り返りの実施率 80%  ・アンケート評価「授業がわかる」90%			
2 新規	細やかな学力向上	①②③④⑤ 全学年  ④1年生 そだち	・通年 ・長期休業日 前の月	① 単元終了時のテスト結果分析 ② 読書活動の充実 ③ 10ます計算 ④ MIMの確実な定着 ⑤ 放課後の個別補習 ⑥ 長期休業日の個別課題と学習教室の実施	・単元のまとめ ワークテスト実施  ・実施状況把握	・単元のまとめのテストで全児童80点以上 または達成率8~90%  ・実施率 100%			

3 継続	補充学習の充実	①全学年 算数・国語 ②全学年 算数 ③全学年 算数・国語	・毎週 ・単元終了時 ・全長期 休業日	①補充学習は、全教職員により組織的に取り組む ②全学年の算数の単元終了時のまとめのテスト結果を管理職に報告し個別指導の実施 ③週1回の放課後の補充学習教室、長期休業中の学習教室を実施する。	・実施報告 (週の計画) (集計表)の提出	・実施率100%			
4 継続	家庭学習の充実	① 全学年、 算数・国語 ② 全学年 週1回以上	・毎日	①「家庭学習のてびき」を作成し家庭と連携して家庭学習の習慣を定着させる。 ②宿題・自主学習ノートによる家庭学習の習慣の定着と「学びに向かう力」の向上を図る。	・実施報告(週の計画) 提出・管理職巡回 ・自主学習ノート 6年：中学と同形式 5年以下：ノート形式	・宿題の提出率 100% ・自主学習の提出率 2～6年生は 7月までに週1回 90%			
5 継続	中学校との連携した学力向上	① 全学年 ② 全学年、 全教科 ③全学年 ④全学年	・通年 ・毎月 (年4回) ・夏季休業 (5回)	①「指導と評価の一体化」について授業実践を通して研究する。 中：3回、小：1回 ②足立スタンダードの徹底図。 ③「自主学習ノート」の定着 ④小中相互の教員が連携・協働	・年4回の講師を招聘した研究会の実施 ・授業観察(週の計画の提出) 管理職巡回	・実施率100% ・連携部会年8回			

<b>重点的な取組事項－2</b>		楽しい学校生活の実現			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
学校へ行くことが楽しみな児童を増やす		・あいさつ運動実施率 100% ・アンケート肯定的評価 90%			
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
豊かな人間関係の育成	いじめゼロ、不登校ゼロ(年度末に継続している件数)	・代表委員会のいじめ防止活動 ・集会活動、学校行事をコロナ対応バージョンに改善・実施 ・アンケート分析、SC、SSW等の効果的な活用と連携 ・特別支援教育の推進			
一人一人の居場所となる学習環境・生活環境づくり	100%達成	・一人一人の活躍の場をつくり自己肯定感を高める。 ・生活指導・校内委員会の充実			
「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底	90%達成	・「いきいき生活頑張りカード」年2回実施(長期休業あけ)、 ・自己評価、保護者評価の向上			

<b>重点的な取組事項－3</b>		体力の向上			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
体力テストで都の平均を上回る		全学年が都の平均を超える			
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
体力向上部会による体育授業の改善	体育の授業に計画的に進め一人一人の児童の運動量を5%増やす	・体力向上部会が実態・行事に合わせ得た指導計画を立案し、実施する。 ・教材研究、授業準備を学年で検討する。 ・児童の運動量を随時測定し、統計資料化、情報共有し部会での対応策を実施する			
オリンピック・パラリンピック教育の推進	東京オリンピックを楽しみ、運動好きにする。実施後はボランティアマインドなどのレガシーを身に付ける	・Beyond2020の活用 ・ストレッチ・コーディネーショントレーニング、体幹等のトレーニング導入 ・カウントダウンセレモニー等のオリンピック関連イベントの実施			
体力向上部会による日常の体力向上策	コロナ禍による運動機会の現象による基礎体力の低下を改善する。 測定時に平均以下の項目を年度末には平均を超える	・感染拡大防止を配慮した多様な遊びと運動機会の設定 ・遊具の効果的な活用による運動量増加 ・担任が児童と共に運動する機会の増加 ・実態に合わせた実施内容の改善 ・持久走記録会による持久力向上 ・年2回のなわとび週間の設置			

重点的な取組事項－４		保護者・地域との連携による教育の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
Reborn プロジェクト (感染拡大防止に配慮した 新しい活動の創造)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍似合って新しい行事の形の創設 7割</li> <li>・保護者・授業参観・行事の参加率を70%にする</li> <li>・学校からの発信についてアンケート肯定的評価90%</li> </ul>			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学校行事の改善	アンケート・学校評価の 肯定的評価の回答80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても、児童の表現力の育成や保護者の鑑賞方法を創設する。</li> <li>・運動会の練習時間の削減と午前中実施による児童の負担軽減</li> <li>・開かれた学校づくり協議会、PTA 役員会による意見を丁寧に聞き、改善に生かす。</li> </ul>			
連携した諸活動の 充実	地域の行事への参加 江南中学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の授業・部活・百人一首、合唱コンへ小学生が参加</li> <li>・小学校の補充教室・ソーラン、読み聞かせ中学生が参加</li> <li>地域行事に児童の活動を披露する</li> </ul>			
保育園、幼稚園との 連携	年間3回、各教員の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の年間計画を作成し、情報を共有し、交流研修や公開保育の参観、学校行事への招待、園との情報交換を実施する。</li> </ul>			
6 まとめ					